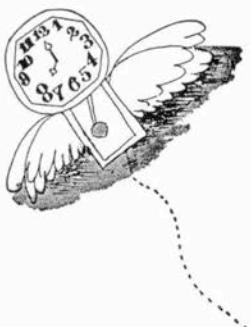


神戸百店会
だより



★又ベルサノへがオープ
ンします。

元町1番街のサノへが本店を改装中なのは、ご存知だと思います。今、仮店舗で営業中、本店は12月初旬に三階建てのビルになつてお目見えするわけですが、ひと足先の10月9日同じじ元町1番街にヌーベルサノへもオープնします。ベージュと茶を基調にしたヌーベル

とは芦原専務のお話。ヌー
ベルサノへの二階で10月22

・23日(予定) 春夏ものキヤビタルシヨーも行なわれます。トアロードのクレージュ店と並んでハイモードのサノヘが三店になるんですから、うれしいですね。

★優雅な雰囲気をどうぞ毛皮シヨーへの誘い
秋もいよいよ本番。大人のおしゃれができる素敵なお

神戸の女性達には、豪華な毛皮もワードローブの一つに加えたいもの。そんな皆さんに毛皮専門店の老舗ベニ一毛皮店（国際会館1階 [22] ）—3327から耳よりなニュースが届きまし

九月十九日、二〇日の両日国際ホテルでファーコレクションが開かれます。特に二〇日は一度行つて見た

ルサノへは婦人服、紳士ものハイブレードなもの、そして本店はカジュアルものと洋品雑貨を中心としたどちらもサロン風の店づくり。「ショッピングの楽しさを味わってもらえるよう店づくりをしたい」



昨年のショーウィー

念して、「75秋冬新着コレクション」がセンタープラザ店と国際会館店で同時に開催されます。世界の銘品が揃いますよ。

秀子さん他五人のお嬢さん。審査にあつたベルの方も困つたくらいチャーミングな人がいっぽいだつた。そこで、選ばれた六人も二日間、大ハッスルでした。

セントラーブラザのベルが
オープンしたのは7月26日。
26・27日の二日間で10
万円のアルドイトをしてしませ
んか(ただし姿端麗の方)。
という募集に自薦他薦の方
娘さん方がベルの前に行列を
なしたのも記憶に新しい事
です。五〇倍という激戦競争
？の末選ばれたのは茂川

★二日で10万円のアルバイト！ いいですね

☆タサキ秋の新作コレクション展示会が九月十五日から十七日までのオリエンタルホリデーではござります。内状のご連絡の方は東京都港区赤坂一丁目五アビタシオンビル田崎真珠販売促進部までお申込ください。

☆ユーハイムの三宮店が改装オープンし、ダイソンの強めマイクランツ（サウチエリー、ブランジ）は他にない直輸入品。専用カートン入りで、薄い本円筒で三百五十四円で、薄いレモンをしばらくしてチミツを入れてそのまま味です。軽食用として三宮店だけのようだ。玉ねぎ入りのパンも焼いているそうです。

☆ユーボルトホーテルで盆踊りや金魚すくいなどの楽しい回顧

☆ヨミエサンの話に統いてアマー
エコールを学ぶ。電車と電車堂の新製品
金の包みは薄いおせんべいが銀
リームが入つません。甘いのにク
甘さのお菓子。六〇円~二四〇
円円。



●ショットピッカラ

さまざまな表情で語りかける静かな時を



STAND
花実

神戸市生田区
中山手通1の72
☎ 331-6985

| 143

潜り戸を通って
“花”のおふくろさんの味を



● こん立て ●

たかのり弁当
やよいの里
花そうめん
みむろそうめん
天ぷら
おつくり
玉子どうふ

花

和風季節料理

11:30A.M.~8:00P.M. 月曜日定休
さんプラザ地階 ☎ 331-0087

まだ遅くない

葉月一郎
え・小西保文

(題字も)



挑戦

新聞社の編集局は、たいてい、だだつ広い大広間である。

経済部、社会部、運動部、文化部……と、担当部門別に分れてはいるが、各部ごとに仕切りがあるわけではない。せいぜい壁がわりに、背の低いロッカーが並べてある程度だ。

毎朝新聞の大坂本社も、似たような構造である。その広間が、屋下がりの夕刊締切時間近くともなると、活気にあふれていた。

と、突然、その活気を分断するように、若い記者の一人が急ぎ足で編集局を横切ってゆく。それは、黒装束の野武士たちが都大路を駆け抜けるのも似て、どこか異様な雰囲気を漂わせた。

その異様さにいち速く気付いたのは、庶務部の次長たちである。

「まだ遅くない」神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄（兵鉄）の公書をなくすと、毎朝新聞神戸支局の石津支局長がキャンペーン企画、取材をすめていた。昭和四十五年秋のことだ。

仕事への情熱を失い、ハートの女ユカとの情事におぼれていた戸波峻記者も、十年のキャリアを買われて参加する。たまたま静客にからまれているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亜紀子と親しくなり、亜紀子は会社首脳の新聞社対策などをそのつど戸波知らせて協力する。亜紀子の兄も記者だったが誤報事件のワナにかけられて自殺したのだ。

兵鉄の花房総務部長らは二人の関係をかぎつけ、亜紀子を工場勤務へ配置がえする。新聞社にも記事とりやめの申し入れをしたらしく、支局長や泉田次長らは本社へ喚問され、キャンペーンは掲載面前に中止決まる。

傷心の戸波は、その夜、亜紀子がひそかにアパート暮らしをしていることを知り、疑惑を深める。真相のつかめぬまま酒に溺れた戸波の帰宅を待っていたのは亜紀子だった。彼女はチャレンジーン中止の理由を問い合わせ、「新聞記者はキレイ」と叫ぶ。戸波は激情の中で亜紀子をなからば暴力的に殴る。そのまま退社願を提出。その夜、たまたま会見った花房総務部長にひやかされ、殴るうとして逆に路上に叩きつけられてしまう。一方、同僚の八木沢ら若手記者たちは、本社へ直訴しても記事の掲載を実現しようと計画する。

「編集局長に会いたいのです」

長身の次長が、すばやく一団の前に立ちふさがつた。

「君たち、どこへ行くのや」

「駆け出しだった」

先頭の眼鏡の男——八木沢記者が歯切れよく答えた。
木曾、松岡、海野、永田、奥西……神戸支局の六人の侍たちは、いちよう肩をいからせ、緊張に蒼ざめていた。

(直訴して、何とか公害キャンペーンを記事にするのだ)

決意と悲壮感が、渦巻いた。

庶務部の次長は、局長と聞いて一瞬たじろぎ、すぐ態勢を立て直すと緊迫した表情にもどった。

「なんの用や。来るようないわれたのか」

「それなら、ちゃんと筋を通して、職制を通じていえばいい」

「君ら、一体、何部のものかね」

「神戸支局です」

「なにイ、支局か。それなら、第一、職場放棄やないか。どうせ管外出張の届けは出してないんやろ」

新聞社といえども自由人の集團ではない。そこには規則もあれば、『掟』もある。それを守らせるための官僚的機構と、その番人も存在する。

忠実な番人は、六人をひとわりにらみ回した。記憶のファイルに撮つておくぞ、という眼差である。

「何や。何の用があつて来たんや」
庶務部員たちの肩越しに声がした。

管内の支局を統轄する地方部の池谷部長だった。おそらく、誰かがご注進におよんだのだろう。急ぎ足で駆けつけてきたらしい息づかいだ。

地方部長は、巨木の間をすり抜ける熊のように、うつそりと一番前へ姿をみせた。

「何だ、君たちか」

そういうと、あちらへ行け、と目で示した。

「ここでは何だから、おれの席で話を聞こうやないか」

造反グループに直訴されたら、おれの立場がない。早

くこの場から引き離して、うやむやに取りつくろつてしまふ——体格に似ず細心で、ことなけれ主義者らしい表情が、そう語っている。

「いや、僕たち、局長に直接、お願ひしたいことがあるんです」

「わかった。わかつるとよ。だけど、な、君、物事には

順序つるものがあるやないか」

「しかし、その順序は先日、うちの支局長が踏んだはずです。われわれは、形を変えて、聞いてもらいたいのです

木曾が、一步も譲らんぞ、といった構えで声をあげた。

「ああ、例のキャンペーンの件やな」

地方部長は、はじめて気づいたような口ぶりで、表情を硬くした。

「あれなら、もう済んだ。聞くことも、いうこともないよ。さ、帰つた、帰つた」

まるで野犬を追つ払うような素振りで、木曾たちを連れり、押し返そうとする。

「なにするんです」

「部長、あんたは、頭こなしに弾圧するんですか」

まるで激しく対立している労使の団交にも似たこと

ばが飛び交つた。

そのとき、六人の背後から「やめんか」と鋭い声が飛んだ。

石津支局長であった。

背広の上衣をワシツブカミにし、ワイシャツをまくりあげて突つ立つて立っている。髪はクシを通した跡もない。

あの緊急部会以来、まだ二日しか経っていない。だがまるで別人のような深い疲労のいろと、とがつたけわしさが頬に刻みこまれているのが誰にも明確に読みとれ

六人の胸中に、それぞれ複雑なかけりが宿る。

直訴計画は、支局長抜きで固めたものである。が、責任ということになると、当然、それは第一に支局長が負

わされるだろう。

ある記者は、まるで悪戯をみつけられた子どものよう
に首をくすぐめた。

ある記者は、「支局長には関係ないよ」という表情を崩
さない。

が、だれもが感じたのは、直訴が挫折した、という想
いである。少なくとも、きょうの計画は――。

そんな胸中を無視したように進み出ると、支局長は地
方部長に硬い会釈をした。

「どうも。また、あとで」

それだけいうと、六人に向かって両手を広げた。まる
で部下たちを一束にして、風呂敷に包んでしまうような
ポーズであった。

「ちょっと目を離したら、こんなことか。仕様のない奴
らやな」

目だけかすかに笑うと、「ついてこい」と先頭に立つ
た。

行先は筋向かいのホテルだった。そのロビーに陣取る
と、支局長は大声で頭数だけのコーヒーをボーアに注文
した。

「こここのコーヒーは高いんじゃ。割り勘やぞ」

誰も笑わない。その凍えたような顔を一通り見回す
と、支局長はタバコに火をつけた。

「今朝、君らのことを一部の支局員から聞いた。気持ち
は、わかる。有難い、とも思う。しかし、いつかデスク
がいったように、これではケガ人が出るだけや」
「有難い、なんて言わん下さい」

突っかかるように八木沢が口をはさんだ。

「支局長のために、やつたんじやない。僕らは、僕らの
書いた原稿がかわいいから、ひいては、神戸の町で公害
を受けてる住民のためにどうしても掲載すべきだと思
からこそ、あえて非常手段に訴えたんです」
「コーヒーが運ばれてきた。

会話が途切れた。

その間にエンジンをかけ直したという感じで、支局長
が口をひらいた。

「八木沢君、いや、みんな聞いてくれ。組織というもの
は、びつしりと縦の糸でしばられている。はみ出せば、
その部分だけ斬り捨てる冷酷さもある。なまじか、反
体制、なんてレッテル貼られた人間が、組織内でどんな
にひどい扱いを受けてきたか、おれはそういう人たちを
ゴマンと知っている……」

「だから、上の通りにしろ、といいたいのですね」
木曽が軽蔑のいろを露骨にあらわして口をはさむ。そ
れに取りあわずに、支局長はつづけた。

「斬り捨てられてもいい、どんなひどい扱いも承知の上
というのは、感傷に過ぎん。勇氣があるようで、それは
単なる蛮勇でしかないと、おれは思うんだ。どうや、違
うやろか」

ゆつくりと支局長は部下たちに視線を回した。火をつ
けたまま一服もしないタバコが、ほとんど灰になつてい
る。

「どんなカツコ悪うてもいい。この組織のカサの下で、
みんなで生きていくやないか。生きてさえいたら、なん
ぼ縮めつけがきつても、それなりに自分のいいたいこ
とを書く場はあるよ。それを何とかみつけ出して、ワク
いっぱい書くのが新聞記者の義務であり、生活の智恵い
うもんや」

「そうやつて妥協していくうちに、段々自分を見失つ
て、いつのまにやらタダの記者に風化する、いや、人を
蹴落としてでも偉うなりたい、という腐ったサラリーマ
ンタイプになり下がる。そんな先輩も、僕ら、ゴマンと
知つてますがね」

「おれも知つとる。おれの同僚にもいっぱいおる。だけ
ど、いや、だからこそ、ここで、君らに注文しとるん
や。そういう人間にならんように、肩を組んでいこうや
ないか、と」

「つまり、今度の公害キャンペーンは、あしたに備え

りと夏の太陽が枯草を焼くような瞳のい
るだつた。

そして、低く、ほそつといつた。

「おれは、あきらめていない」

「……」

「実は、ゆうべ、もういちど守野局次長
と膝づめで話をした。今夜も挑戦してみ
るつもりや」

「支局長」

「いいか。君らは斬込み隊になっちゃい
かん。そんなもん、單なるエエカツコシ
イ、と他人にいわれるだけや。どうして
も、そんなドンキホーテになりたいのな
ら、もう二、三日、そう、おれがぶつた
切られてからにせい」

この男らしい古風な表現である。しか
し、それなりに小さな感動が走つた。そ
して、大きな不安が追いかけてきた。

一将、功成つて……ではない。一将枯
れ、万骨もまた枯れ果てるのではないか
うか。
賭けと祈り——その二つが八木沢たち
を重苦しく覆つていつた。

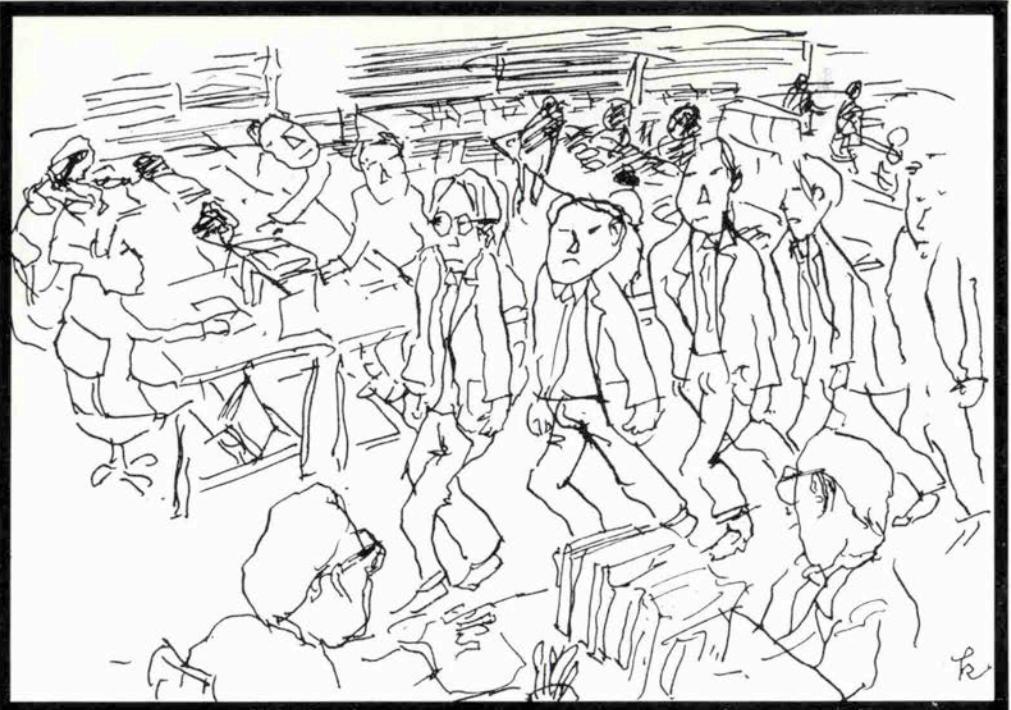
大阪本社と、このホテルでのいきさつ
を伝え、戸波に伝えてくれたのは松岡記
者であった。

戸波は顔を包帯におおわれてアパート
で寝ていた。

て、あきらめろ、ということですか」

松岡が、いかにも行動派らしく、短兵急に結論を求めていた。

支局長は、松岡の角刈り頭をじつとみつめた。じりじ



前夜、有野社長に力まかせに舗道へ叩きつけられた傷
が、いまも痛む。しかし、その痛みは、どこか快感をと
もなつっていた。胸の底のどこかに残っていた未練や色氣
を、それが人々に打ち砕いてくれたからだろうか。

ユカだけが、いま戸波の支えだった。

三宮の路上から、雨の中をタクシーで救急病院へ運び治療が終わるとアパートまで付添つてくれた。

一睡もしない看病、朝の食事、部屋の掃除……。そのかいがいしさは、新婚でもない恋女房そのままだった。

「ごめんなさいね。私が海へ行こうなんて誘つて、あんなとこを通つたからなのね」

その言葉を繰り返した。

相手が、兵庫製鉄の関係者と感じ取つてゐるらしいのに、一言も口にしない。

視線が合うと、ただ、例の暖かい微笑を送つてくる。そこにユカならではの優しさを見た。

「晩ご飯の仕度と、そう、お花でも買つてくるわ」

そういうて出かけたユカと入れかわりに、やつてきたのが松岡だった。

「支局長も再挑戦するといつてゐるんです。やめるなんていわずに、もう一度、参加してくださいよ」

この若い、正義感あふれる記者は、まともに支局長の心中を汲みとつていていた。

耳に入つたが、心には届いていない、といつてよかつた。

「おれの辞表、支局長は受理してくれただろうか」

それが、松岡に発した初めての質問だった。

「八木沢は、たしかに渡してくれたんだな」

「ええ、ホテルのロビーで。でも、支局長はロクに見もせずに、ポケットへ押しこんでしまつてましたよ」

「そうか。それでいいんだ」

もういちど取材スタッフを編成しなおす、時間をかけて公害の実態を洗い出す……熱っぽく、松岡は打合せの模様を語りつづけている。

適当に合槌を打ちながら戸波は、それを遠い国のできごとのように聞いた。

新聞の役割、社会に貢献している力について全く認めないわけではない。

だが、支局長のいうように、体制のワク内で、果たしてなにほどのことができるのか。「できるはずだ」といふのは、それこそエエカッコシイではないのか。

「戸波さん、聞いてるんですか」「戸波さん、乗り出して念を押した。

「あした、もう一度、打合せ会をします。ぜひ、顔を出して下さいよ」

「さあ、ちょっと無理だろう。まあ、みんなに宜しくいっておいてくれよ」

首を振ると、激しい痛みが襲う。思わず顔をしかめた。

「あ、そのけが、本当にどうしたんですか」

はじめて気がついたようすに松岡がのぞきこむ。

「う、うむ。酔っぱらってな、この近くの溝へ落ちたんや、われながら醜態や」

苦笑してみせる。

いまさら、くわしく説明したくもない。第一、兵庫製鉄がらみだといつたら、松岡たちが、ただではおかぬのではないか。もう、そんな生臭い話は願い下げにしたい……。

突然、ドアをノックする音が聞こえた。

ユカが戻ってきたのだろうと直感する。

しかし、予想は外れた。「ごめんください」女の声がして、ドアが聞く。

まず、花束がみえた。一人ではかえきれないほど盛りこまれた豪華な花束である。玄関から部屋の中へ、甘酸っぱいその香りが、またたく間に広がる。

花をかかえているのは、まぎれもなく細川亞紀子であつた。黒地のツーピースが、肌の白さをひときわ引き立てる。

亞紀子は立つたまま表情も変えずに静かに頭を下げた。そして、いつた。

「おけがの、お見舞に参りました」（つづく）

父、祖母は岡本に健在で年に二、三回は遊びにいっています。

多分スタッフの中には御存知の方もいらっしゃることと思います。

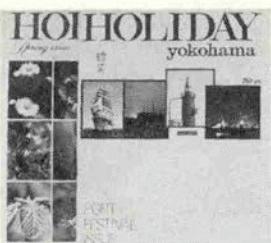
talk and talk



★神戸っ子愛読者サロン

★ HOLIDAY YOKOHAMA

VOL. 2



創刊されたホリデイヨコハマ

出来上りましたので御送付いたします。おかげさまで、仲々好評をいただいておりスパンサーも増えつつあります。

また読者の声も色々集まりつつ、今後とも貴誌を一つの目標として我国の代表的なタウン誌となる様がんばる所存でございます。

今後ともよろしくお付き合いをお願いいたします。

私が貴誌にとてもなつかしさを感じるのは、実は、神戸（甲南大学）の生れであり、今でも祖

父と共に果てしなく展開していく東洋のナポリミナトコウベは真盛り、不幸にして新空港は出来なかつたけど花と緑のこの街の大地に第一歩を刻み入れるこの一刻この感激を神戸と旅を愛する貴方は世界のエトランゼゴールドウォーターキー湧きおこる布引前的新神戸駅それとも今宵は百万弗の海岸線、ゴールデンブリッヂターミナル。

来る日も来る日も終日押し潰されそうな苦しみと悲しみの中

私も、神戸で生れ、そして同じ港町、横浜に住み、何か海との宿命を感じております。

まだまだ、ヨチヨチ歩きではありますが、色々御教示もいただきたく思います。

神戸新聞社内
ホリデイヨコハマ編集長
〈広瀬 治彦〉

☆ホリデイ・ヨコハマの創刊おめでとう。同じ港町としてヨコハマのタウン誌の誕生は何より嬉しいことです。海を愛する広瀬編集長の意気込みを祈ります。（編集部）

★ 日と共に果てしなく展開していく東洋のナポリミナトコウベは真盛り、不幸にして新空港は出来なかつたけど花と緑のこの街の大地に第一歩を刻み入れるこの一刻この感激を神戸と旅を愛する貴方は世界のエトランゼゴールドウォーター湧きおこる布引前的新神戸駅それとも今宵は百万弗の海岸線、ゴールデンブリッヂターミナル。

来る日も来る日も終日押し潰されそうな苦しみと悲しみの中

を生きて来た私達に私達の周囲凡てが最早あの戦争を忘れようとしている。そして日進月歩何も彼も凡てが変り果てた神戸ミナトコウベと共に歩み続ける私達の神戸っ子そんな貴誌に私達は何時迄も、何時迄も声援を送ると同時に思い出の神戸市電新聞地欄を御願いし度い。

芦台区国香通三一

坂本アパート内

三木 克彦

☆熱心な愛洗ご投稿ありがとうございます。OLD KOBIE の市電物語、新聞地の話一読下さい。

▲編集部▽

八トンもあった荒石が五トン程にちぢまり、「二つ折りの座」も形をはつきりとみせてきました。秋に宇都宮で開かれる「現代日本彫刻展」への出品作品です。

朝夕は秋の気配を感じさせる風が吹き始めました。島を去る日が近いようです。（増田正和）

「Old Kobe」元町通はなつかしいです。しかし、昔のことは知りませんので、新鮮な気持で読みました。

『海船港』マルコボーロ号を訪ねて死ぬまでは一度船旅をしたいと思ひます。（丸本明子）

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
神戸市葺合区旗塚通7-5 TEL 231-6300
トアロード店 TEL 391-2538
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれなゐ
三宮生田新道浜側中央
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱう 花くま
神戸市生田区花陽町45
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび 悟味西
お茶漬・かはな おむすび
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび
鍋もの ふる里
神戸市生田区北長狭通2の1
TEL 331-5535

たこ焼たちばな
三宮センター街(田柳筋) TEL 331-0572

北海道郷土料理 蝦夷
神戸市生田区中山手通1丁目115
生田区東門筋東門会館ビル1階
TEL 331-7770

カニ料理 婆娑羅(ばさら)
神戸市生田区北長狭通1丁目18
三宮阪急北側レインボープラザ1・2F
TEL 321-6363

天プラハウス 美術喫茶瀬戸
神戸市生田区山本通3丁目27の9
瀬戸ビル1F TEL 221-6548

★西洋料理

アボロン
神戸市葺合区八幡通5丁目6
TEL 251-3231

皮^{アラカワ}
神戸市生田区中山手2-9
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON 三門
神戸市生田区中山手通二丁目98/99
TEL 331-5817

れんが亭
神戸市生田区下山手通2丁目34
TEL 331-7168

セントジョージ
神戸市生田区北野町1丁目130
TEL 242-1234

レストラン 男爵
神戸市生田区中山手1-18
山手第一ビル1F TEL 241-0778

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前
TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる
神戸市生田区北長狭通2-22
TEL 331-1183

レストラン フィッシューマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル
TEL 331-0301

居酒屋 ロス・ヒターノス
生田区下山手通3丁目22
下山手セントラルハイツ
TEL 391-5431

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道
TEL 331-9554

グリル・鉄板焼 月
神戸市生田区北長狭通1-24
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3丁目
TEL 331-2108

レストラン スイスシャレー
神戸市生田区北野町3丁目48アニルドマンション1F
TEL 221-4343

レストラン ハイウェイ
神戸市生田区下山手2-20
TEL 331-7622

ピッツアハウス ピノッキオ
神戸市生田区中山手2-101
TEL 331-3545

レストラン フック店
神戸市生田区栄町1-5-3
TEL 321-3207

ピザ&スパゲッティ ガルの店
葺合区琴緒町5丁目1-7
西山ビル1F TEL 241-9025

ステーキハウス グリル青山
神戸市生田区中山手通2丁目112-2
(トアロード) TEL 391-4858

レストラン フック神戸店
神戸市生田区栄町通2丁目24
TEL 321-3453

ピザ・パブ ピザ・パテオ
神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)
TEL 331-9378

ナシオト火の鳥
神戸市生田区中山手通1丁目27
TEL 242-1330

スカンディナビア料理
世界の民族音楽の店 ゴックスタッフ
生田区山本通3丁目18 回教寺院前
TEL 242-0131

メキシコ小料理亭 ティファーナ
神戸市生田区中山手通1丁目4/12 パールゴーボラスピル1F
TEL 242-0043

ステーキ&ドリンク 黒牛
神戸市生田区中山手通2丁目39の36
TEL 241-3739

ドライ・風 音楽レストラン コーベ・ロレーライ
生田区北長狭通6丁目39
TEL 371-0086

★喫茶 宮水のこーひにしむら珈琲店
中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70
TEL 221-1872-231-9524
センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶ガーデニア
神戸市生田区東町113-1 大神ビル1F
TEL 321-5114

珈琲モーツアルト
神戸市生田区山本通2丁目98グランドマンション1F
TEL 241-3961

ティー&スナック サボテン
神戸市生田区中山手通2丁目
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

ティー&スナック 工ポック
神戸市生田区元町通3丁目(浜側)
TEL 331-3694

★club クラブ 千鳥
神戸市生田区下山手通り2丁目21
TEL 391-1077

club 飛鳥
神戸市生田区中山手1丁目117
TEL 331-7627

club 小万
神戸市生田区東門筋中島ビル3F
TEL 391-0638・4386

club さち
神戸市生田区中山手通2丁目75
TEL 331-7120

club なぎさ
神戸市生田区北長狭通2の1 TEL 331-8626

club 蘿^ふき
神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

club ぶげん
三宮生田新道浜側中央KCBビル5F
TEL 331-8593

club Moon Light
BAR TEL 331-0886-391-2696
Club TEL 331-0157

クラブるふらん
神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK ベルビュードール
ドリンク&レストラン
神戸市生田区中山手通2丁目101 大洋ビル2F
TEL 321-5677

スタンド 英国屋
生田区下山手通2-6 相互タクシー横
TEL 331-1100-331-6600

洋酒ハウス 雜貨屋
生田区下山手通2丁目8の6
(生田新道相互タクシー横上) TEL 321-0260

スタンド グラムール
生田筋屋ビル地階 TEL 331-4637

スナック姫
神戸市生田区中山手通1丁目18
TEL 221-1950

カクテルラウンジ サヴォイ
高槻山側 テキの店北
TEL 331-2615

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
神戸市生田区下山手通1丁目32
PHONE 078-241-7320

スナックビージー
神戸市生田区中山手2丁目
TEL 391-4582

居酒屋ボルドー
生田新道浜側中央KCBビルB1F
TEL 331-3575

Wine and something 珍地理屋
神戸市生田区中山手通1丁目24
大和ナイトプラザ1F TEL 242-0288

サロングループ 神戸時代
生田区中山手通1丁目28
シャトウコトブキビル TEL 242-3567

スタンドくじ
生田区中山手通1の72
TEL 331-6985

キヤンティ
本店洋酒の店
神戸市生田区北長狭通2の3
tel 391-3060・391-3010

北店スープとパンの店
神戸市生田区下山手通3/8/9
tel 331-3661

DRINK SNACK
スネカリッ子
神戸市生田区下山手通2丁目
水晃ビルB1 TEL 391-8708

msic spst サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2丁目トア・ロード
北野店 生田区中山手通1丁目24-7
ダイワナイトプラザ6 Ftel 221-3886

裏舌洞でつさん
神戸市生田区北長狭通1丁目258
TEL 331-6778

STAND マシュケナダ
生田区下山手通2丁目ちいなダウン地下
TEL 331-5587

スナック GASTRO
神戸市生田区中山手通3-20
トアマンション TEL 231-0723

バスチャーリントン
生田区北長狭通2丁目(トアロード)
TEL 332-1125

スナックエドワーズ俱楽部
神戸市生田区北長狭通1丁目28
ホワイトローズビル5・6F 生田新道 TEL 391-3300

サロンアルバトロス
生田区中山手通り1丁目24の7
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231)3300

CAFE WHISKY 音楽の家"ETエトワTOI
神戸市生田区三宮町3丁目 三宮センター街西入口
スカイドアビル3F TEL 332-1755

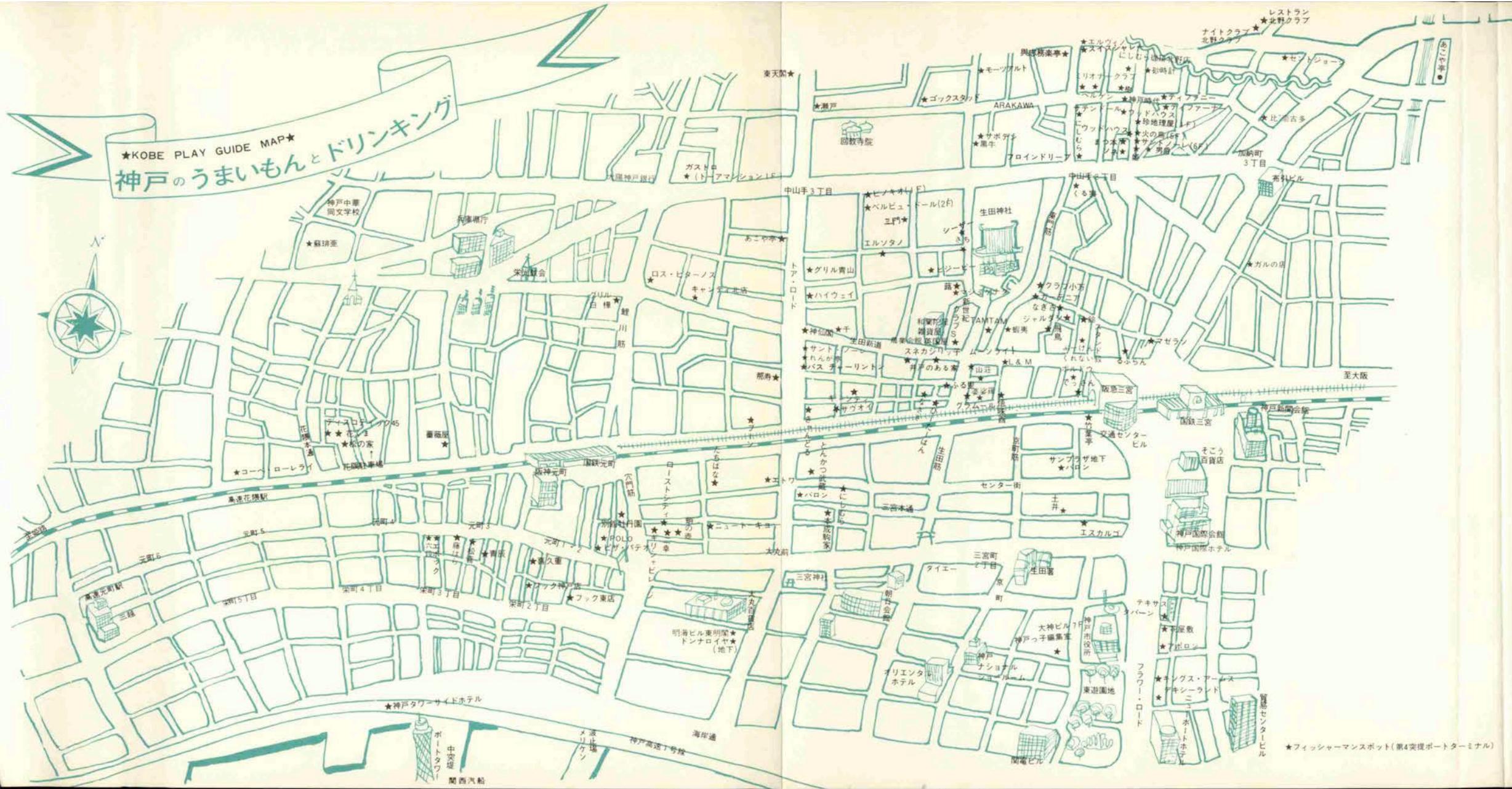
スナック山
神戸市生田区北長狭通1丁目22
TEL 391-5823

スタンド紋
神戸市生田区北長狭通1丁目41-1レンガ筋
TEL 331-8858

スナック興志務亭
神戸市生田区山本通2丁目60バールライフ1
TEL 242-1977

S N A C K L &
生田区北長狭通1丁目41
生田新道ビビ TEL 331-321-1

実生田区中山手通1の72
TEL 331-6985



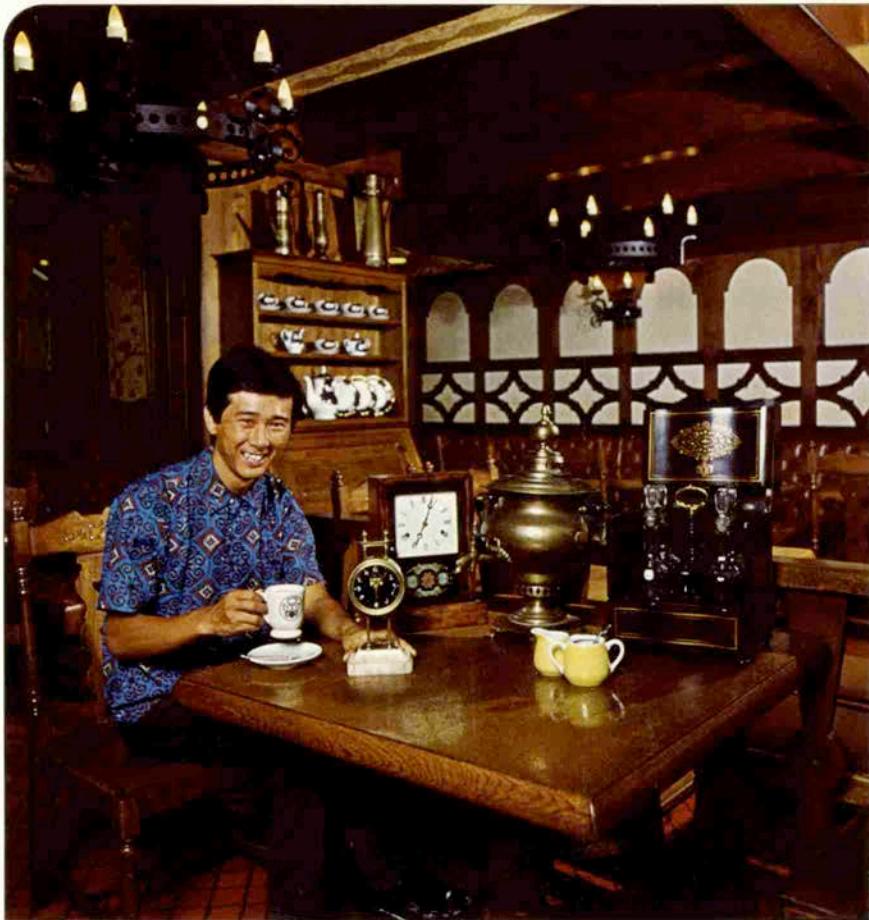
bal'On antique series

XXXII 時 計

鉢木伸一郎
〈ノア〉店主

40~60年代のジャズレコードのコレクションが600枚。アンティックに魅かれることもジャズに揺れることも郷愁かもしれない。日常生活が合理的であることも大切だが、毎日のようにネジを巻かなければ動かない昔の時計やガラスの器と語り合う会話。スイングジャズもアンティックもその時代そのものが私に語りかけてくる。それが今の私たちにとって貴重なものではないだろうか。

さんプラザ バロンにて
カメラ／米田 定蔵



バロン

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 391-1375 AM10:00~PM9:00迄

ya センタープラザ Shop Guide

ちかねたへセンタープラザがオープンしました。宮崎市長さんのテープカットに、新しい神戸の顔をつくるこの「センター」は、地下はたべものやさん1Fはもとのセンター街の京町筋のお店が再開して、2Fはフーリーラーをあがると鏡のひろばは、EXPOを想す。赤い手すりのエスカレーターをあがると鏡のひろばは、EXPOを想す。



線から面へ。神戸っ子に愛されたセンター街。都市計画でヘサンプラザが生れ、7月26日には待

発見しました。



★高級婦人服地とお詫え

ミヤムラ

センタープラザ1F
☎ 331-7237
本店元町3 ☎ 331-3217

え。お詫えもどうぞ。



★ブティック イリエ

センタープラザ1F
☎ 332-2878

ファッショングの秋にふさわしくトータルなブレタを神戸のハイなセンスでコレクション。ニュートラルなあなたのお好みにぴったり。



★事務と暮らしを豊かにする
ナガシマ
文具センター

センタープラザ1F ☎ 321-3333
さんちか店 ☎ 391-4713

24時間オープンの
ウインドウディスプレイは趣味をこらして楽しく、舶来文具品が話題の豊富な品揃えです。

★舶来オリジナルボタン
アクセサリー・洋装材料

マルタイ

三宮京町筋
☎ 382-1358

デシン風のシルク、ギヤバ、ジョーゼットetc
秋冬ものの新着服地
がヤングからミセス
迄巾広く豊富に品揃え。
お詫えもどうぞ。



フレッシュな驚き！ Sannomi

いだすきらびやかさ。サンプラザと連なつて、またショッピングの流れが

いだすきらびやかさ。サンプラザと連なつて、またショッピングの流れが



(左)と西京子さん
変つて行くようです。
ヘンタープラザの話題は、やはりファッショ
ンストアの多いこと。東京色も強いなかに、神戸らしさを大切にしたお店もあつて、この秋のおしゃれレディの心をときめかせそう。あなたも新しいKOBEを探検してみてはいかが。

ショッピングレディは西京子さん



★直輸入アクセサリー

タニグラ

センター プラザ 2F
☎ 332-1710

直輸入のアクセサリーは、世界各国の楽しいおしゃれなムードの品

ばばかり。秋にさきがけたあなたのチャーミングなポイントづくりを。



★舶来品アクセサリー ハンドバック

アセロ

センター プラザ 2F
☎ 331-6689

ミラノ(伊)のボゾルト製のネックレスやサンローラン、テスティのハンドバック等舶来国産のしゃれたセンスがいっぱい。

★喫茶とクレープ(ケー GHEZ シエ・ GRÉPE クレープ)

センター プラザ B1F
☎ 332-2751

藤田嗣治の絵があるシエ・クレープは神戸で初めてのクレープのお店。パリの街角で焼いてるあの味ね。ラ・ブランセ・ド・サン



★ブティック ・ア・モア

センター プラザ 2F
☎ 332-2690

ロングドレスにロングスカートなどお色直し、バーティ着と、オリジナル・ラウンジウェアの専門店です。

ビ・エ・ラ・ブランセ・ド・サン



秋の夜 なにげない語らい 呑味されたメニュー おしゃれなスペース



神戸市生田区中山手1丁目24ノ7
TEL 078(241)0980・(242)1925
大和ナイトプラザBフ
PM 6:00～PM12:00





小集会、誕生祝などのパーティーなどにご利用下さい。

ちくせんミュージックタイム

藤沢先生によるピアノの弾き語り 6:00pm~8:00pm 0:00am~2:00am

神戸のター坊による演歌熱唱 8:00pm~0:00am



スナック ちくせん

生田区中山手通1丁目85(東門筋)中島ビル4F ☎331-3131
近藤正実・岩本文夫



スナック

ケブン-ゲン

生田区中山手通1丁目105

ダーバンビル地階

☎ 332-2366



DRINKING IS AN ART OF LIFE

WOODHOUSE

生田区中山手通1丁目32

山内ビル

☎ 241-7320

KOBE DRINKING GUIDE



生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

ステーキハウス

☎ 391-3335



Snack joyful

生田区中山手通1丁目74

三角ビル地下1階

☎ 332-1866



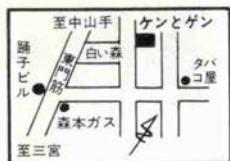
スナック“ケンとゲン”は、雰囲気のよさと、ボトルが低料金でキープできることで早くも神戸っ子たちの間で噂がもちきりです。しかもママはモデル出身の美人なのだから、神戸の夜にまたひとつ“名花”が咲いたことになります。

ボトルキープ

リザーブ(レギュラー)	¥ 4,800
カティーサーク	¥ 5,500
ホワイトホース	¥ 5,500
ピンチ	¥ 13,000
レミーマーティン	¥ 15,000

他にお好みに応じて各種料理もあります。

6:00P.M. ~ 2:00A.M. 年中無休



ケンとゲン
てんわ 332・2366

KOBE DRINKING GUIDE



ヤマサキ

★秋の気配の感じられる季節になりました。さわやかな秋はまたステーキのおいしい季節です。ステーキハウス“山崎”へいらっしゃいませんか。最上級の神戸肉と新鮮な生野菜をご賞味下さい。きっとご満足いただけるでしょう。また、落ち着いた雰囲気、それに、各種のワインも揃っていますので、ゆっくりとお食事を楽しんでいただけます。30名ほどのパーティーの予約も承っています。家族づれ、友達同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ¥5,000 サーロインステーキ¥3,000 テンダーロインステーキ¥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き。ビール¥300 ボトル(OLD)¥5,000 ボトル(ホワイトホース)、ボトル(カティーサーク)各¥7,000
5:00P.M. ~ 2:00A.M. 日曜日休み

★ビキニのあとがくっきり残った今年の夏も9月の声をきくと思い出してなつかしい今日この頃、秋ですね……。

今回から神戸っ子の誌上で“ウッドハウス”的紹介をさせていただきます。その第1弾は……本名、平尾仁(ひらおひとし)24歳。通称デコちゃん。“ウッドハウス”で唯一の独身者。75年度後半は彼のためにあるほど乗りに乗っているにぐい奴。“ウッドハウス”で目下女性支持率人気ナンバーワン(自称)。趣味といえば覚えたてのマージャン、ツモリいっぽつたデコちゃんと異名をもつこわい奴。とはいっても……“ウッドハウス”におこしの節はジックリ顔を見てやって下さい。そんな奴には見えません。ただニヤニヤするかわいい男。

デコちゃんをよろしくお願ひします。

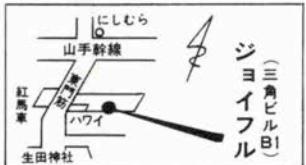
☆営業時間のお知らせ。平日／5:00P.M. ~ 2:00A.M. 日曜／6:00P.M. ~ 0:00A.M. 年中無休

ビール(小)¥300 水割り(オールド)¥400 フィズ¥500 おつまみ¥100 スパゲティ¥400 ピラフ¥400 ほか。

ウッドハウス



ジョイフル



“Have a JOYFUL time !”

この3月オープンした“ジョイフル”も早や半年、皆様に可愛がられてやっと大人の仲間入りといったところです。ママをはじめ、女の子たちもまだ初々しさ(一見?)が残っていて、とても新鮮です。

小さなお店だが、夜の優しい言葉? 可愛い笑顔、落ち着いて飲むには最高だ。

夏のオレンジ色のハートを、クールなフィーリングで酔いしめてみませんか。ヤングからミドルエイジまで気軽に来てください。

ボトルキープ/リザーブ、カティーサーク、ホワイトホース各¥8,000
6:00P.M. ~ 1:00A.M. 日曜日休み